

インパクトコンソーシアム

第2回市場調査・形成分科会

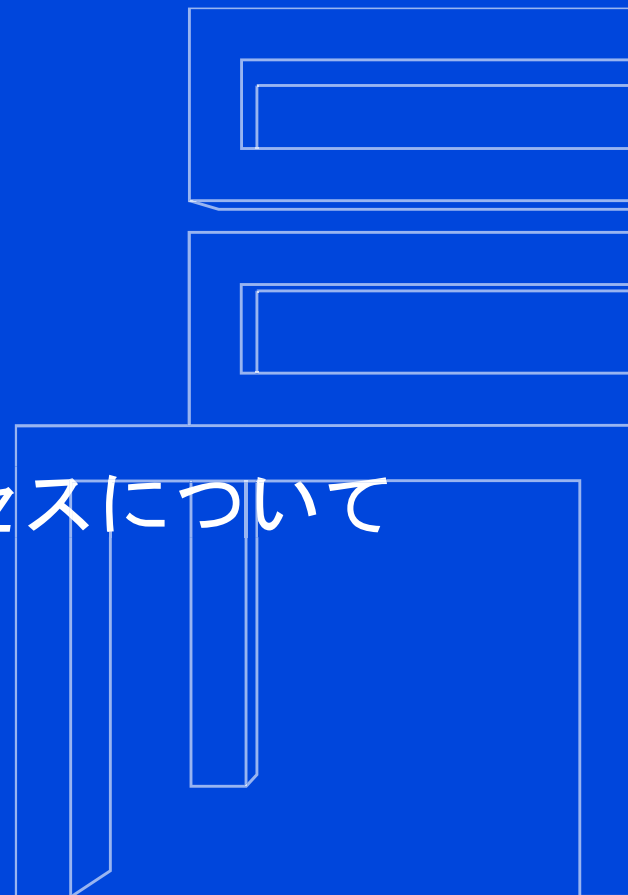
上場企業へのインパクト投資の手法・プロセスについて

2024年10月29日

坂本一太

代表取締役社長

カディラキャピタルマネジメント



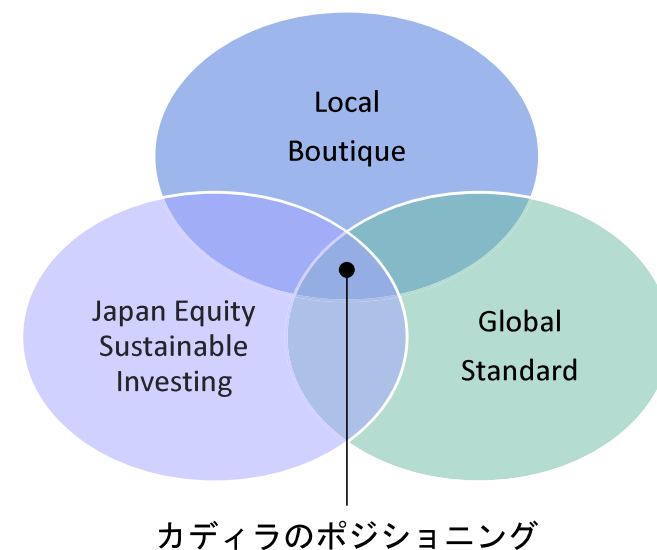
# 本日本お伝えしたいこと

- カディラキャピタルマネジメントとは？
- カディラが取り組む「サステナビリティの課題」
- カディラの「ソリューション」
- 「ソリューション」から「サステナビリティの課題」解決までのロジックモデル

# カディラキャピタルマネジメントとは？

上場株式投資を通じたインパクト追求手法の開発と普及に挑戦している

- 日本の独立系新興資産運用会社（2022年設立）
- 上場日本株式サステナブル投資戦略に特化（インパクトを統合）
- グローバルなサステナビリティ基準に対応（顧客層は欧州機関投資家\*）



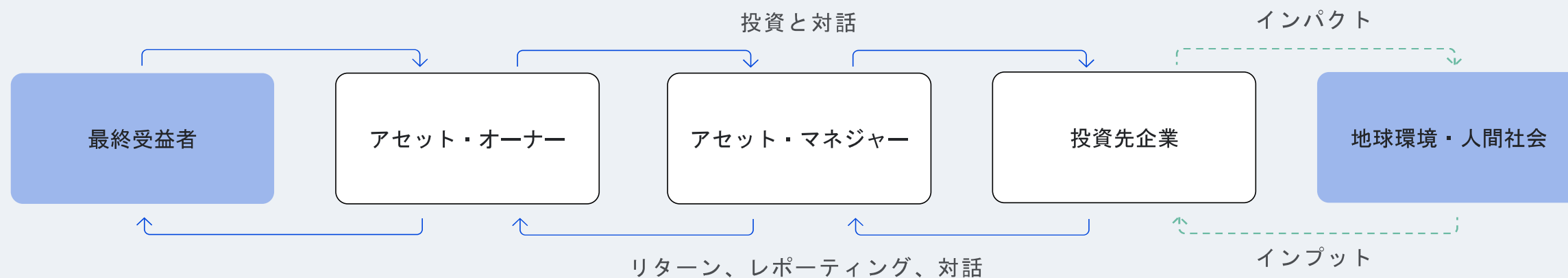
\* 2024年9月30日現在。

出所：カディラキャピタルマネジメント株式会社（CCM）

# カディラが取り組む「サステナビリティの課題」

リターンとインパクトを両立する方法論が確立されていないため、インパクトを考慮する投資家が少ない

カディラのミッション：「インベストメントチェーンを先へとつなぐ」



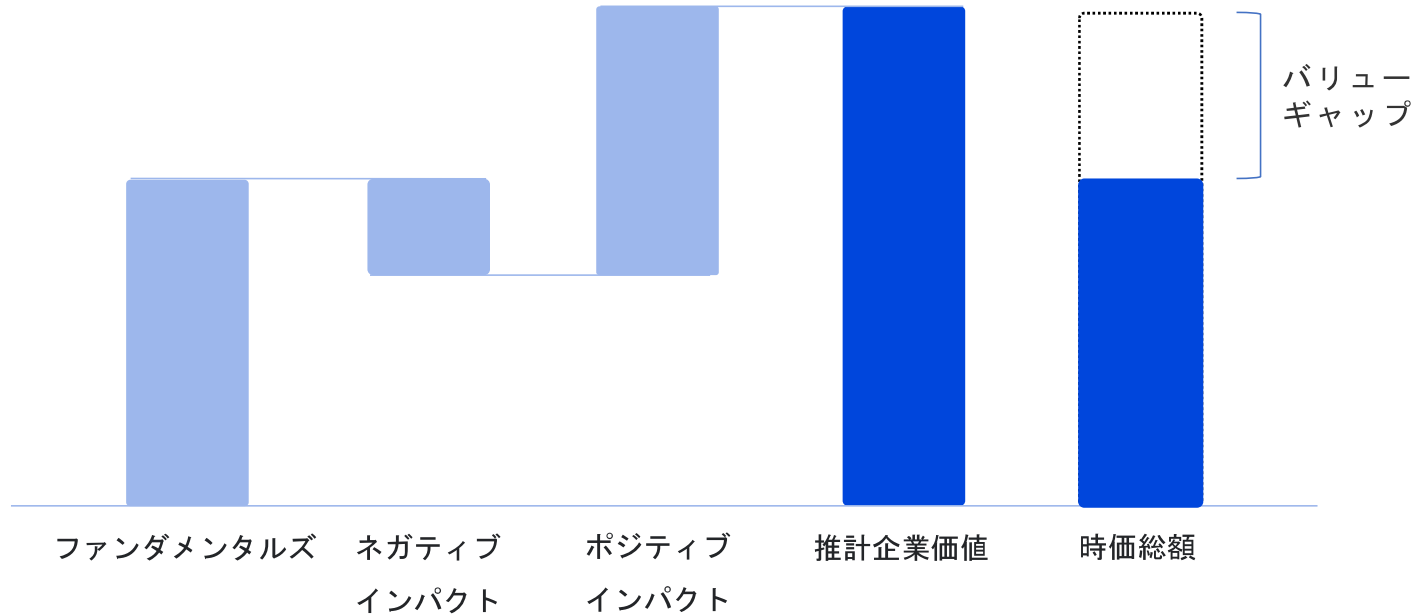
注：上記は例示であり、すべての投資ケースに当てはまるとは限らない。

出所：CCM

# カディラの「ソリューション」

インパクトを企業価値に組み入れることで可視化し、バリュー投資という共通言語に落とし込む

## インパクト統合価値 (Impact Integrated Value : IIV)



## IIVツール外観

SUMMARY											
Ticker	Name	Price	95t Cap	P/E (FY1)	P/B	Div Yield	No of Share	Share	Trd Value	Data DL	
9432	JT	NIPPON TELEGRAPH	181	16,353,388	12.8	1.9	2.9%	90,959,3	161,131.2	29,100	24/02/23
		Communication Services	323	29,291,110	22.9	1.4	79.4%	195	206.0	20.0	Next issue: 24/5/10

Earnings (m. JPY)										
Year	Net Profit	Growth%	Value	%	Forecast	Growth%	Internal Carbon Price (tCO2e/1.1)	Carbon Cost	CarbonUP	Target
2023	855,954	6.7%								
2024	1,213,119	41.5%								
2025	1,314,449	8.3%								
2026	1,373,019	4.5%								
2027	1,386,230	1.0%								
2028	1,397,097	0.8%								

DISCOUNT RATE									
Market Risk	5.0%	Adjust							
Risk Free	0.7%								
Corr Adj	0.4%								
Quality Adjustment	0.0%								
Liquidity	0.0%								
ESG Rating	-0.4%								
Carbon Intensity (t/JPY)	0.0%								
Governance Practices	0.2%								
Adverse Impact	0.5%								
Total	6.7%								

GOVERNANCE PRACTICE									
Category	Threshold	Download	Document	On-site	Revised	Judge	Comment		
CORPORATE GOVERNANCE	--	--	--	--	--	4			
SOCIAL ISSUES	--	--	--	--	--	1			
ENVIRONMENTAL ISSUES	--	--	--	--	--	6			
Total						11			

ADVERSE IMPACT									
Category	Threshold	Download	Document	On-site	Revised	Judge	Comment		
SOCIAL ISSUES	--	--	--	--	--	5			
ENVIRONMENTAL ISSUES	--	--	--	--	--	2			
Total						7			

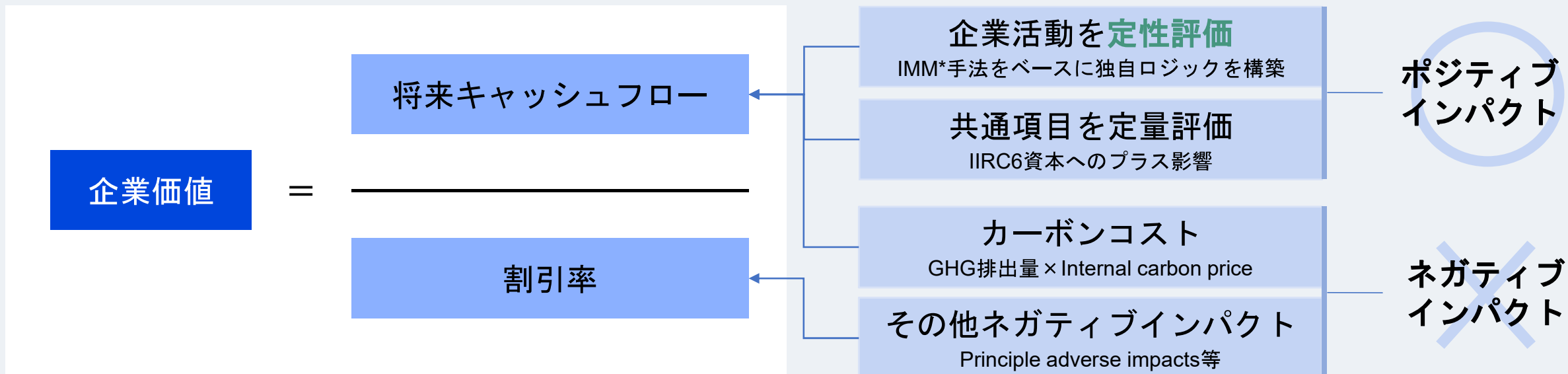
STAKEHOLDER MANAGEMENT									
Category	Threshold	Download	Document	On-site	Revised	Judge	Comment		
NATURAL CAPITAL	--	--	--	--	--	3			
SOCIAL & RELATIONSHIP CAPITAL	--	--	--	--	--	0			
HUMAN CAPITAL	--	--	--	--	--	5			
FINANCIAL CAPITAL	--	--	--	--	--	2			
MANUFACTURED CAPITAL	--	--	--	--	--	1			
INTELLECTUAL CAPITAL	--	--	--	--	--	0			
Total						11			

注：上記は例示であり、すべての投資ケースに当てはまるとは限らない。

出所：CCM

## IIVの計算ロジック概要

ポジティブインパクトを将来キャッシュフローに反映する



\*IMM : Impact Measurement & Management、インパクト測定・管理

### 定性評価

インパクトの有無を確認  
社会課題の構造化、課題解決策の分析

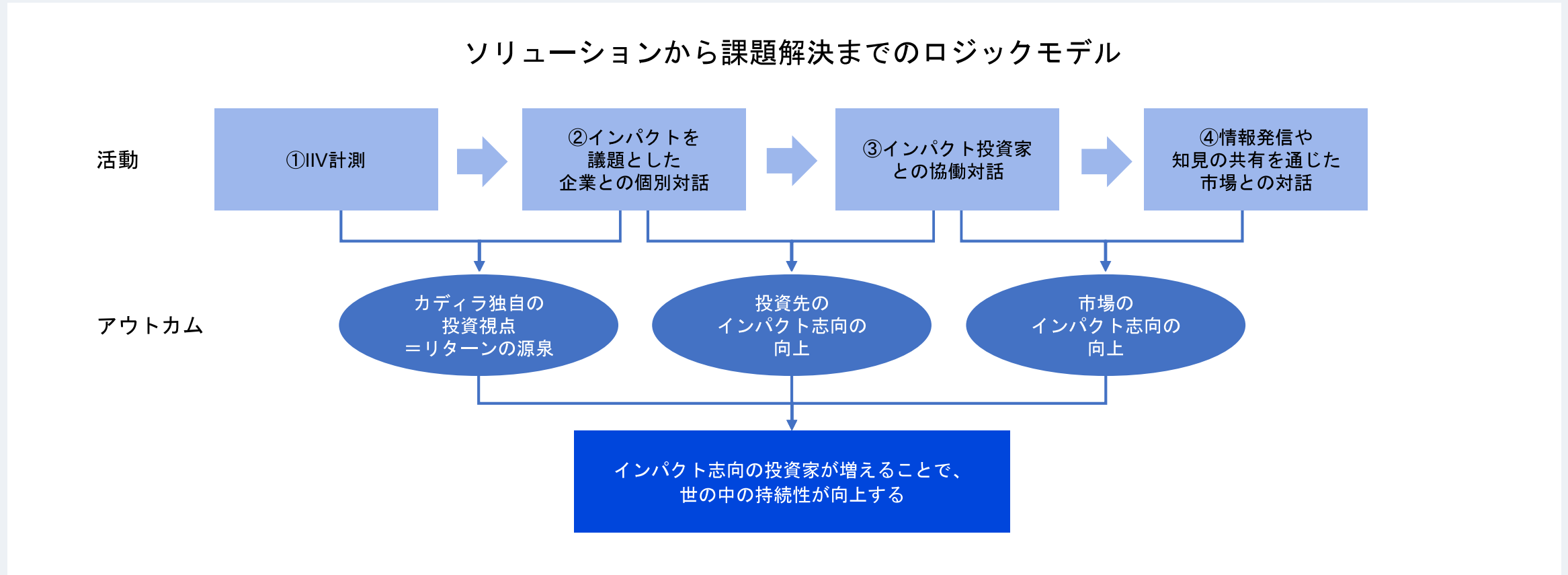
インパクトの質や推進体制をスコア化  
実現性、卓越性、継続性等

注：上記は例示であり、すべての投資ケースに当てはまるとは限らない。

出所：CCM

# 「ソリューション」から「サステナビリティの課題」解決までのロジックモデル

## カディラの投資家の貢献



注：上記は例示であり、すべての投資ケースに当てはまるとは限らない。

出所：CCM

## 重要説明事項

本資料はカディラキャピタルマネジメント株式会社が情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。カディラキャピタルマネジメント株式会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についても何ら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はカディラキャピタルマネジメント株式会社に属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

本資料は、(i)本講演のための情報であり、(ii)特定商品の購入に係る勧誘行為を意図しておらず、(iii)独自で入手した情報源に基づいて作成しております。本資料記載のデータ取得につきまして、データ取得時期に一定程度の幅があり、併せて、本データは定量部分に限り集計したものとなります。本資料に記載の本データに関し、その名目及び法的性質を問わず、特定目的への適合性、商品性、正確性、完全性、有用性をはじめ、いかなる種類の保証もいたしません。

商号等： カディラキャピタルマネジメント株式会社

登録： 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3351号

加入協会： 一般社団法人 日本投資顧問業協会